

6年生と3年生の交流学習の風景

今回は、6年生と3年生の交流学習の風景を紹介します。

下の写真は、体育館で6年生が3年生を相手に読み聞かせをしている場面です。この場にいたるまでに6年生は、まずクラスで国語の物語教材「ヒロシマのうた」を学習しています。本来なら修学旅行と並行させ平和学習の一環として取り組む教材でしたが、6年生は一生懸命に主人公の気持ちに寄り添い、読み取り学習を進めるとともに平和の尊さを学びました。そして、その延長線上に平和に関する本の帯をつくり、また、本を紹介する学習が用意されていました。そこで本を紹介するのなら、読み聞かせ形式で他学年にということになりました。

私は、この取り組みにいくつかの魅力を感じました。まず、異学年での交流は同学年のみで行うより利他への意識がグンと育つと考えます。6年生は3年生のことを思い、目的意識をもって学習をすすめることができたと思います。また、3年生も6年生の真摯な気持ちに応えようと一生懸命に話を聞き、平和についてなど質問をすることができていました。このような取り組みを通して自尊感情や礼儀等が自然と児童に備わるのではないのでしょうか。大切にしていきたい所です。

